

第9回 部会研究会

●日時 1月23日(木) 15:30開会

●小学校教科部会

部会名	会場
国語	附属中赤レンガ館 (小中合同)
社会	北東中(小中合同)
算数・数学	附属小おおぎりホール (小中合同)
理科	伊勢小
音楽	石田小
造形	石田小
保健体育	山城小
家庭	附属小
英語	相川小
生活科	附属小

●中学校教科部会

部会名	会場
国語	附属中赤レンガ館 (小中合同)
社会	北東中(小中合同)
算数・数学	附属小おおぎりホール (小中合同)
理科	南中
音楽	石田小
造形	南西中
保健体育	北西中
技術・家庭	城南中
英語	笛南中

●問題別部会

部会名	会場	部会名	会場
生徒(生活)指導	貢川小(学級づくり)	特別支援	附属特支
	北中(教育相談)	評価	池田小
道徳	国母小	幼年教育	貢川小
特別活動	大里小	保護者との提携	池田小
教育課程	新紺屋小	安全指導	教育会館
進路指導	中道南小	職場の問題	上条中
地域と教育	新田小	教育条件整備	教育研修所
食教育	大國小	平和人権教育	教育研修所
視聴覚・情報教育	朝日小	自立と平等	羽黒小
学校保健	北東中(1班) 南西中(2班) 大里小(3班) 大國小(4班)		
図書館教育	びゅあ総合(合同)		

各部会とも、『相乗り』を基本にお願いします。



部会研究のまとめをお願いします

今年度最後の部会研究会です。研究の成果と課題を明らかにし、次年度へとつなげて下さい。これからも質の高い甲府の研究活動が継続できるよう、お願いいたします。

重要

来年度の部会所属について

重要

甲教協を行っていく上で大きな課題となっているのは、部会所属における「人数の偏り」です。
最大の部会は92名、最小が5名という状況(H31年4月時点)です。県内の他地区では人数の偏りを解消するために、①6年以上所属した方には部会の変更を促す ②一部の所属部会の割り当てを予め各校に配分する ③甲府同様1校あたりの人数制限をかける 等の対策を行っています。

教育研究活動は、自主的な研究ではありますが、一方で組織研究でもあります。来年度から始まる新学習指導要領の実施は、私たちにも新たな課題を投げかけているのも事実です。甲府市全体の教育のボトムアップ、さらには各校に等しく研究の成果を還元していくためには、人数の偏りを解消することも求められます。最近では、私たち教職員が学校現場で直面する課題も多種多様となり、私たちが自身のスキルアップのために求める情報や技術も、人によって違い、そして日々変化しています。教科別・問題別を問わず、新たな分野で研究を深めていくことが必要です。私たちが様々な分野で力量を高めていくことは、目の前にいる子どもたちの豊かで幅広い教育の実現にもつながっていきます。同一部会に永く所属されている方も含め、前向きに検討していただければと思います。

さて、来年度につきましても、これまで同様**1部会に1校3名まで**(他郡より異動、新採用者は除く)を**原則**とし、所属を決めていきます。

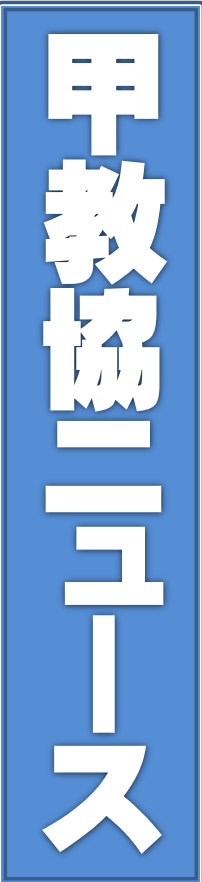
年度内に希望調査を行い、調整できる部分の対応をした後、新年度になったところで最終決定とします。ご理解とご協力をお願いします。

研究のあゆみの活用を

1年間の研究活動の様子を掲載する「研究のあゆみ」は、各部会で積み重ねてきた成果が凝縮されたもので、今年度も3月末に発刊いたします。

それぞれの部会では、大変優れた理論研究や授業実践等が行われています。甲府の研究が外部から非常に高く評価されているのは、そうした積み重ねが日々の実践にしっかりと結びついているからだと思います。

私たちの自主的な研究・組織での研究をお互いに共有し、さらに深化させていくためにも、「研究のあゆみ」をぜひ手にとっていただき、活用して下さい。事務局としても、実践の交流や共有につながる手段・機会を提供できるよう、今後も検討を重ねていきます。



No.9
R2.1.16
甲教協事務局

